

東京2020大会

東京2020応援プログラム「東京1964大会聖火台磨き」に室伏スポーツ局長が参加

2018年3月7日



スポーツ局長のほか、地元石巻の小中学生や、仙台大学の漕艇部所属の小島広大さん（体育部体育学科3年生）、落合ゆきさん（同2年生）、梶原龍将さん（同1年生）ら若手アスリートらも駆け付け、ごま油をしみこませた雑巾で、それぞれの想いを込めて一生懸命に聖火台を磨きました。

室伏スポーツ局長は、「一刻も早く復興が進み、東京2020大会の成功に向けてみんなで頑張りたいという気持ちを込めて、今日は聖火台を磨きたい」と話していました。

参加者のコメント

若手アスリート

聖火台磨きの感想

- これまで身近にあってもあまり意識していなかったが、聖火台を磨くことで、改めてオリンピック・パラリンピックのパワーを感じた。（梶原さん）
- オリンピック・パラリンピックに関わる活動に参加することで、東京2020大会を間近に感じるようになった。これからも東京2020大会に携わる活動を行っていきたい。（落合さん）
- オリンピック・パラリンピックのシンボルである聖火台を若手アスリート代表として磨くことができ、光栄を感じた。（小島さん）

東京2020大会に向けて

- 平昌2018大会では女子アスリートが活躍していた。これからは女子アスリートの裾野が広がり、東京2020大会でも男女ともに活躍してほしい。東京2020大会は社会人になっているため、何らかの形でかかわりたい。（落合さん）
- 東京に行かなくても、地元である宮城県から東京2020大会を盛り上げ、応援していきたい。（小島さん）

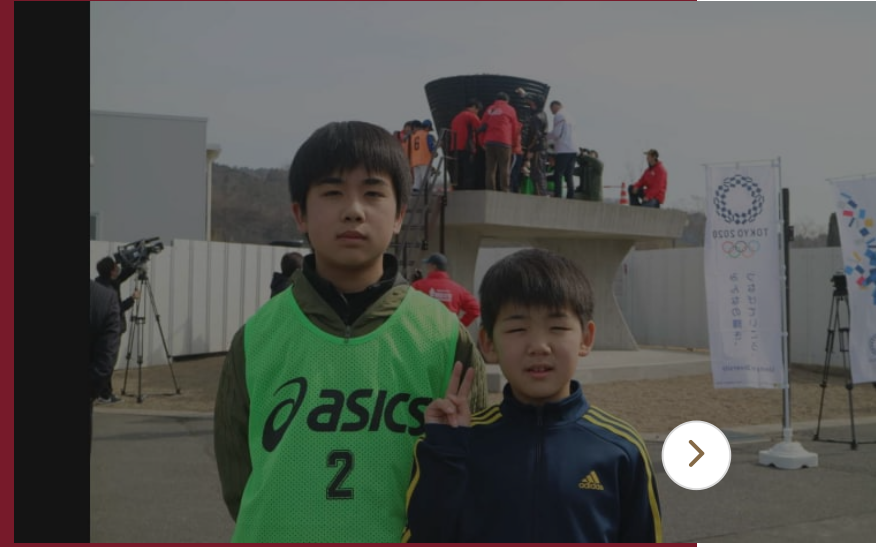
小学生

聖火台磨きの感想

- 聖火台は間近で見たら大きく、磨き終えた後には達成感があった。（住吉・開北陸上スポーツ少年団6年生 長谷川 樹（たつき）さん）

東京2020大会に向けて

- 東京2020大会には出られないが、日本人アスリートを一生懸命応援するので、たくさんの方に金メダルを取ってほしい。（同上）



東京2020応援プログラム「東京1964大会聖火台磨き」に室伏スポーツ局長が参加



1 / 3

- [組織委員会について](#)
- [お問い合わせ](#)
- [ウェブアクセシビリティについて](#)
- [リンク](#)
- [利用規約](#)
- [個人情報保護方針](#)
- [クッキーポリシー](#)
- [サイトご利用にあたって](#)
- [サイトマップ](#)
- [報道関係者の方へ](#)

©公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
All rights reserved.

写真提供：

アフロススポーツ ゲッティー イメージズ フォト・キシモト 竹見脩吾